

公益社団法人

日本眼鏡技術者協会 会報

No. 143

2013 年（平成25 年）冬号 12 月発行



編集/発行 公益社団法人 日本眼鏡技術者協会

発行人 津田節哉 編集人 吉野勝

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-6

TEL 06-4807-5070 FAX 06-4807-5009

URL <http://www.megane-joa.or.jp/>

E-Mail joa@maple.ocn.ne.jp

無断転載・転用・複製を禁じます

information（視力表についてほか）…………… 2

津田会長が厚労大臣表彰…………… 3

教育関連報告（試験結果など）…………… 3

消費者からのご相談…………… 6

technological lecture…………… 7

国際部報告（APOC、ISO）…………… 10

議事報告（理事会）…………… 12

支部訪問（群馬県支部）…………… 13

支部活動…………… 14

事務局から…………… 16



JOAのテーマ 眼鏡学の確立はJOA

3メートル用視力表
(視力めやす表)



今年度の認定眼鏡士の啓蒙は視力表で

3メートル用視力表（視力めやす表）を作製し、この会報に同封させていただきました。本来、5メートル視力表が理想ですが、一般の方が自宅などで使えるように3メートル用にし、視力めやす表としています。会員みなさんに10枚ずつ配布させていただきましたので、「メガネの技術者に国家資格を」のPRにどうぞお役立てください。

追加用の認定眼鏡士のPRグッズの活用を！

- 3メートル用視力表／50枚 1,000円（送料込）
- オリジナルクリアファイル／20枚 1,000円（送料込）
- リーフレット／100部 1,000円（送料込）
- ポスター（サイズA2）／2種1組で 1,000円（送料込）



支 部
および
ブロック
単位で
ご利用

一般消費者への普及啓蒙事業、また推進機構の活動を支援している立場から、支部およびブロック単位で上記のPRグッズを配布展示する場合には、無料でお送りいたします。ただし、送料についてはご負担ください。



読売新聞に認定眼鏡士 PR の広告を掲載

25年度の認定眼鏡士のPR事業として、3メートル用視力表と11月24日読売新聞全国版に半5段の広告を掲載しました。



会費などの払込方法、コンビニ払いを準備中

会費や更新料のご入金は、従来、郵便局での払い込みのみでしたが、時間や曜日に関係なく、また全国の14のコンビニチェーン店でお払い込みがいただけるよう、現在、準備作業を進めております（開始時期は未定）。従来通り、郵便局での払い込みも可能です。



津田会長が 薬事功労者 厚生労働大臣表彰

今年度の薬事功労者厚生労働大臣表彰の医療機器販売業関係で津田会長が受賞（愛知県眼鏡小売商協同組合より推薦）されました。賞は、薬事関係事業の発展向上に長年にわたって貢献し、薬事行政の推進に功績があった人に対して、毎年「薬と健康の週間」（10月17日～23日）に贈られます。

今年度は、81人（薬剤師会関係35人、医薬品製造業関係4人、医療機器製造業関係2人、医薬品卸業関係4人、医薬品小売業関係6人、薬種商販売業・医薬品登録販売関係11人、医薬品配置販売業関係15人、医療機器販売業関係2人、化学薬品関係1人、毒物劇物関係1人）が受賞。10月22日午後2時から、厚生労働省講堂で表彰式が行われました。



今年度の生涯教育・実技講習終了

認定試験は、SS級43人、SSS級7人が合格

■生涯教育講習会 41支部 35会場で実施

生涯教育は、7月2日から11月19日まで実施、41支部35会場で計1,978の方が受講されました。今年度のテーマは、出直し、レンズ光学の基礎—その1「眼鏡技術者に必要とされる光学とは」、眼鏡技術者のための眼科学「眼表面の生理とその働き」、「3D映像と視機能問題への対処」でした。

■実技講習会 5つのテーマで実施

実技講習会は、開催支部が次の5つのテーマを選んで実施、466人が受講されました。①眼位検査の各種（7会場）②基礎から始める屈折測定（1会場）③累進屈折力レンズ、度数決定のポイント（6会場）④深視力検査（4会場）⑤累進眼鏡のフィッティングとレイアウト実技（2会場）

認定眼鏡士試験結果

SS級

SS級の学科試験は、8月21日に東京、愛知、滋賀、大阪、岡山で実施。149人が受験し、合格は48人（合格率28%）となっています。また、実技試験は8月26～30日に、学科と同様5会場で計131人が受験、45人が合格（合格率34%）されました。すでに合格した学科・実技の科目を含め、今年度全8科目に合格されたのは43人です。おめでとうございます。

25年度のSS級認定眼鏡士・実技試験の評価

SS級認定眼鏡士実技試験は、測定、フィッティング、加工作製の3科目です。各総評のみ掲載します。

測定

【合格率】56.9% 【総評】相変わらずカバーテストは「形だけ」で、その意味を理解していない人が目立った。その他の測定においても、「なぜ、その測定を行うのか」という測定の意義・目的が理解できていないと思われるケースが多く、必要以上に丁寧に測定したり、そのケースにおいて、不適切な測定をしてしまったりすることがあると感じられた。

フィッティング

【合格率】41.8% 【総評】顔型の観察をしていない。フィッティングの原則を知らない、理解していない、その通りにできない。フレームのオリジナルの美しい形をまったく変形させてしまって、それでよしとしている。つまり自発的に受験している人は、多くないだろう。マーカーでアイポイントを打って提出するのに、マーカーが薄くて判別ができない。逆に黒々と塗りつぶして判別ができない。本当に合格しようという意欲があれば、人にマーカーを借りてでもきちんと印点するだろう。指示された事をその通りにしようとしなのは、職業人としてすでに失格で、マーカーで印点する事は技術や専門知識ではない。最近の実技試験では、技術の審査というよりも、仕事に取り組む意欲の審査のようにになっている気がする。

加工作製

【合格率】41.8% 【総評】今回はかなりひどい状態のものは少ないが、完璧に近い人も少なかった。採点するなかで、ヤゲンの角度が鋭角なレンズ（前面と後面2方向のみ平らに仕上げている）は、正面から見ると白くリング状になっていて、お客様にお渡しできるメガネとは到底思えない（手摺り機にV溝がないためだろうか？）。レンズのカーブやデザインも大切だが、今後は美観も重要視した採点項目を加える必要があるのではないかと改めて感じた。レンズ形状、乱視軸を合わせるためにフレームを変形させた例もあり、問題が大きい。

認定眼鏡士試験結果

SSS級

SSS級認定眼鏡士試験は、9月3、4日に東京、愛知で実施。今回は、29人が88科目を受験、19人が34科目に合格されました。このなかで全7科目（累積合格含む）に合格されたのは、順不同で小泉隼さん（山梨県支部）、竹内初枝さん（非会員）、久禮宗典さん（大阪府支部）、中島幸広さん（広島県支部）、山本和弘さん（千葉県支部）、梅澤竜彦さん（東京都支部）、清水学さん（千葉県支部）です。おめでとうございます。

合格された7人の方の中で、5人の方が体験談を綴ってくださいました。

SSS 級試験 体験談

中島 幸広さん
(広島県支部)

現在 56 歳となり、眼鏡業従事 34 年の私ですが、父の始めた眼鏡店に諸事の都合により大学 4 年の 1 月から働き始め、以後特に体系的に勉強することもなく、日々のお客様が一番の教科書といった生活を送っておりました。その間、(現) 東海光学会長・古澤様



のご厚情で志を同じくする眼鏡人の会に参加させていただき、眼鏡販売店連合会会長の西村様にも「今まで勉強する機会がなかったのは残念ですが、今からでもしっかりがんばりなさい」と、お声をいただきました。

4 年前一緒に働いております妻が突然勉強を始め、その姿に感化され、2 年前に SS 級試験に合格し、1 年間準備に間を開けてこのたび SSS 級試験に合格でき、喜んでおります。これからは、お店のスタッフの教育を通じながら、地域の皆様へのビジョンケアに取り組んでいきたいと思っています。

久禮 宗典さん
(大阪府支部)

この度、おかげさまで SSS 級の試験に合格することができました。合格まで 4 年かかりました。



受験する者にとっては、1. モチベーションのキープ 2. 勉強のための情報 この 2 点がかかなり重要だと感じました。何年か受験していると、内容によっ

ては「そこまで必要なのか?」「本当にこうまでして資格が必要なのか?」と自問自答するようになります。私は「自分のプライドの問題」と割り切りました。自他ともに認められるレベルになりたい、途中で投げ出すのは自分のプライドが許さない… そんな気持ちを支えに勉強しました。

試験情報については皆さん同様、情報不足で苦労しましたが、事前講習が大変役に立ちました。アドバイスくださった諸先生方、同志の眼鏡士、本当にありがとうございました。

今後もお客様に快適なメガネを提供できるよう、研さんを続けたいと思います。

竹内 初枝さん
(非会員・神奈川県)

基礎から学び直したいと思い、SSS 試験利用で 1 科目づつというスローペースで始めました。視科学 I・II と一番身近な分野を 2 回続けて不合格となった時は、気持を入れ替えました。特に視科学 I は、参考にするものがあまりなく、試験で初対面眼鏡用語の



連続に、学校間の差を感じました。通信教育で学んできたからか、復習ではなく新しく学ぶ科目の方が多く、知りたかった「神経解剖」などアウトラインに沿って整理できました。過去問題はできたら公表してほしいな～。

合格にかかった回数は私に必要な回数だったと、しみじみ納得でき、これからの私の血と肉になると思っています。(合格点はたぶん 60 ～ 70 の間ではないかな?) 親の介護で中断もあり、約「10 年」かかりました。

業界の知識技術レベルを皆で上げていきましょう!

眼鏡士のための算学③

technological lecture

日本眼鏡技術専門学校 講師 吉野勝

(141号からの続き)

前回の春号からだいぶ経ってしまいました。第3回の今回は、そろそろ実用的な三角関数の使い方をひとつ紹介します。

【プリズムの分解】

三角関数とプリズムの縁はたいへん深いものがあります。プリズムの表記は眼鏡業界では、基底の方向を、外方(BI)、内方(BO)、上方(BU)、下方(BD)の4方向で表すのが一般的ですが、眼科処方せんで時々、
右眼：P 3.5 △ BASE 35°

などと書かれたものがくることがあります。「ナナメ方向のプリズム？ってなんだ？」と思ってしまうかもしれませんが、若いORTさんの処方でしょうか、眼科処方せんで見かけるようになりました。これは横方向（外方または内方）のプリズムと縦方向（上方または下方）の両方のプリズムを持っているお客さんで、それを合成して一方向で表記してきているのです。

もちろんそんなことは知らなくても、このままレンズメーカーに注文すれば、その通りに作ってくれますから実質的な問題はないのですが、後日、店頭で再度測定というときには、やはり4方向表記の方が便利です。

相

認定眼鏡士がいる店に病院で作成した処方せんを持って行き、メガネを作製しました。眼鏡店では全く検眼をせず、レンズのグレードを選ぶこともありませんでした。処方せんを持ち込んだ場合、認定眼鏡士の仕事として一般的に検眼もせずにメガネを作製するのでしょうか。できあがり不満（よく見えない）で、処方せん通りにできているのか疑問です。（横須賀市消費生活センター 25.10.28）

答

医師が発行する眼鏡処方せんは、原則的には眼鏡調整指示書ですので、それをご持参された場合、眼鏡技術者はその処方せん通りの度数で調整、いわゆる検眼をしないのが普通です。

ただし、お客様との話からご本人のご希望を十分理解し、処方内容との整合性を考えます。疑念が湧いたり、齟齬が心配される時は処方せんの度数をテストフレームとテストレンズで再現して、意図通りか確認していただくこともします。その結果、ご本人の意図と違っていれば、再度その眼科への受診をお勧めします。今回のケースでは、その確認を怠った可能性があり、その点では技術者に手抜きがあります。しかし、それでその技術者がいい加減で認定眼鏡

士と名乗る資格がないとは言い切れません。相談者の方は、メガネが処方せん通りにできているのかの疑問をお持ちですが、まずは処方を受けた眼科で処方せん通りか調べていただけたらいかがでしょうか（多くの場合、処方せんには「でき上がったメガネを検査しますので再度ご来院ください」と記載されています）。

レンズのグレード云々については、最近は推奨レンズ付きセット販売というものもあって、お客から求められなければ説明を省略するケースもあるようですが、好ましい販売方法とはいえません。

では、前号お示しした三角関数表を使って、これを4方向表示にしてみましょう。説明は、図でお示するのが分かりやすいので図示しますが、実際は普通の電卓1台あればできるものです。

BASE35°とありますから三角関数表の θ が、35°のところを見てください。そうすると $\sin \theta^\circ$ (sの長さ)が0.5736、また $\cos \theta^\circ$ (cの長さ)が0.8192とあるのが見つかります。これは図1-aのように、35°の直角三角形の斜辺の長さが1なら、高さsが0.5736、底辺の長さcが0.8192の割合ですよ、ということです。

図1-a

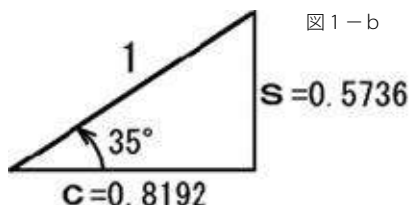
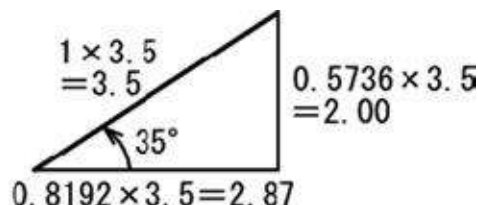


図1-b



この関係が三角関数です。また双方の比率を三角比とも呼びます。

さて、処方せんではプリズムの大きさが35°方向に3.5ということですから、図1-bのようにc、sをおのおの3.5倍します。電卓をたたくと以下のように計算できます。

$$c=0.8192 \times 3.5 = \text{約 } 2.87 (\triangle) \quad s=0.5736 \times 3.5 = \text{約 } 2.00 (\triangle)$$

この時、cは横方向のプリズム、sは上下方向のプリズムを示しています。その基底方向は、表1の約束に従って決めて下さい。同じ角度でも、4方向表記では左右の眼で違ってきますから間違わないように。表では35°は0°～90°の範囲にありますから、右眼での基底は「内方・上方」だということがわかります。これによって

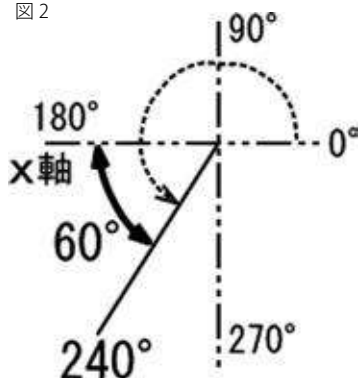
右眼：P 3.5 $\triangle$ BASE35° = P 2.87 $\triangle$ 基底内方 2.00 $\triangle$ 基底上方と2方向(4方向表記)に「分解」

表1

表示角度	右眼での基底	左眼での基底
0° ～ 90°	内方・上方	外方・上方
90° ～ 180°	外方・上方	内方・上方
180° ～ 270°	外方・下方	内方・下方
270° ～ 360°	内方・下方	外方・下方

できました。

図2



もうひとつやってみましょう。左眼です。

左眼：P 2 $\triangle$ BASE240°

240°というとなしそうで思いますが、図に書くと図2のようなので、x軸となす角度は $240 - 180 = 60^\circ$ 、これで三角関数表を見てやればよいのです。三角関数表から、 θ が60度の時、cは0.500、sは0.8660と読み取ってください。Pは2 $\triangle$ ですからc、s

technological lecture

を2倍します。

$$c=0.5000 \times 2 = 1.00 (\triangle) \quad s=0.8660 \times 2 = \text{約 } 1.73 (\triangle)$$

4方向表記は、表1で240°が含まれる範囲の[左眼での基底]は[内方・下方]。

よって

左眼：P2△ BASE240°=P1△基底内方 1.73△基底下方

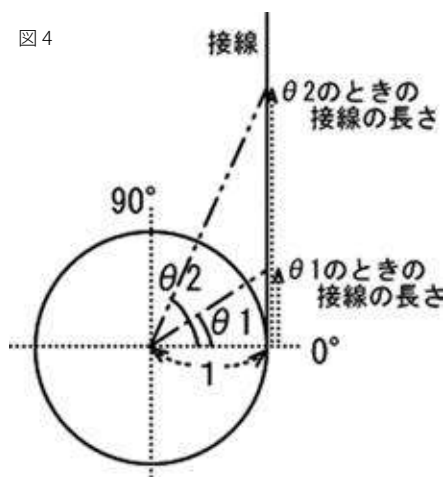
さて、この計算はグラフ用紙と分度器で作図したり、レンズメーターを使ってすることが多いのですが、そのような道具を使わなくても、三角関数表さえあれば電卓どころか筆算で、できてしまいます。

technological lecture

【プリズムの合成】

では、この逆はどうすればよいのでしょうか。横方向のプリズムと縦方向のプリズムをひとつにまとめる(合成する)のです。

図4



三角比(三角関数)には、もうひとつ長さや角度の関係があります。

サイン、コサインと同じように半径が1の円において角度 θ の時の半径を円の外にまで延長すると、円に外接する接線の長さが求められます(図4)。

この関係を「タンジェント」(正接)と呼んで、
 $\tan \theta^\circ = \text{半径1の円での角度}\theta\text{の接線の長さ}$
という関係が得られます。

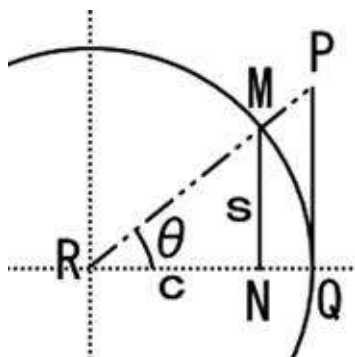
そして図から、

$$\tan 0^\circ = 0 \quad \tan 45^\circ = 1$$

$$\tan 90^\circ = \infty (\text{無限大})$$

ということが容易に想像がつきます。

図5



ところで、図4をよく見てみると、タンジェントは「底辺の長さが1の時の直角三角形の高さ」といえることに気がつきます。

また、図5のように円に外接する直角三角形RPQと内接する直角三角形RMNというように見ると、タンジェントは半径1のRQと外接線PQの比となります。ここで三角形RPQとRMNは相似形です。

ならばタンジェントは、斜辺の長さが1である直角三角形RMNの底辺RNと、高さMNの比と言い換えることもできます。そして、ここまでで理解できている事柄により、RMは角度 θ についてのコサイン(c)、またMNは角度 θ についてのサイン(s)だということがわかります。

すなわち、

$$\tan \theta = \frac{\sin \theta}{\cos \theta}$$

ということになります。

(以下は次回です)

韓国でAPOC開催、日本からも講演など

国際部長 金井昭雄



開会式であいさつする金井 前APCO会長

第19回アジア太平洋オプトメトリー会議（APOC）は、韓国オプトメトリー協会（KOA）の招きで10月2日から3日のスケジュールで韓国・ソウル市の「63 コンベンション・センター」で開催され、関係者の協力を得て無事成功裡に終了した。大会では「オプトメトリー教育の促進」をテーマに掲げ、招待講師による基調講演や講義のほか、34の研究発表（口演）と94のポスター展示が行われた。現在、韓国には45校、インドに90校、中国に71校、台湾に9校、マレーシアには7校のオプトメトリー・スクールがあると報告されている。

大会は、韓国オプトメトリー協会（KOA）および香港工科大学の協力を得、2年間にわたって準備された。大会期間中、主催者である韓国オプトメトリー協会から大変温かい歓迎と

なしを受けた。2年前（2011年）の予想では世界経済の展望が不安定で開催が心配されたが、業界各社の温かい協力を得ることができた。

日本の業界から（株）ニコン・エシロール（プラチナ）、セイコーオプティカルプロダクツ（株）（ゴールド）、HOYA（株）、東海光学（株）（以上、シルバー）、（株）シャルマン、（株）トプコン（以上、展示）、（株）ニデック（寄付）の各社様からスポンサーとして寛大なご協力を得た。紙面をお借りして心から感謝申し上げます。

開催に際し、韓国政府厚生省、ソウル市、韓国観光協会などの協賛を得、プログラムブックにはソウル市市長のあいさつが掲載された。また、スーザン・クーパー世界オプトメトリー会議（WCO）会長がカナダから参加し、大会を盛り上げてくれた。第19回APOCは総数694人が参加する大きな大会となったが、海外から20カ国、192名の登録があった。日本から29名が参加し、当協会を代表して関真司O.D.（当協会理事）が出席した。カリフォルニア大学バークレー校オプトメトリー・スクールから金井邦容O.D. 臨床助教授が招かれ、「糖尿病のスクリーニングのための遠隔医療システム」について講演した。また、大阪医科大学LDセンターの奥村智人氏が臨床研究を発表、さらに東京眼鏡専門学校のエリカ・久松教授（当協会国際部）や日本ライトハウスの田邊正明氏等がそれぞれ研究成果を口演した。

なお、今大会開催を機に、韓国国会議員2名との面談の機会を得、韓国のオプトメトリーの課題や今後の展望について親しく意見を交換した。韓国では、最近インターネットを通じたコンタクトレンズの販売を禁止することが国会で承認された。

大会に先立って10月1日にAPCOの総会が開催され、13カ国から16団体、23名の代表が出席した。任期満了に伴い理事の選出が行われ、オーストラリア、フィジー、香港、インド、日本、韓国、マレーシア、フィリピンが新たな理事に選出された。翌日開催された第1回理事会で役員の選出が行われ、新会長にフィジーのシャーミーム・ラザック氏、副会長に当協会理事の関真司O.D.、財務には韓国のDr. チューンが選出されたほか、事務局長に香港のカーリー・ラム教授が留任した。次回APOC開催国は、マレーシアに決定した。



ISO国際会議、眼鏡レンズ関係の作業部会に出席

国際部 林光久

10月14～18日、国際標準化機構(ISO)の国際会議がドイツのベルリンで開催された。ISOのTC172専門委員会・SC7分科会委員会(眼鏡光学および関連機器の専門委員会)の合同国際会議で、会場はベルリン市中心部にあるDIN(ドイツ工業規格)本部のビル内。

SC7には、光学機器、眼鏡フレーム、眼科インプラント、コンタクトレンズなどの部門が含まれ、各作業部会(WG)に分かれて規格に関する審議が行われているが、今回は1年半ごとに行われるWGの合同会議で、世界10数ヶ国、100人以上が参加し、今回の会議からサウジアラビアの代表が投票権のあるP-memberとして参加した。日本からは15名が参加、各WGに分かれて審議。眼鏡レンズに関する作業部会(WG3)には、WC3国内委員会を代表して、委員長の川合忠章氏(HOYA(株)ビジョンケアカンパニー)と私・林が出席した。

今後のISO TC172/SC7国際会議は、2014年6月にロンドンで中間会議、2015年春には上海で開催予定。

●全体会議

TC172/SC7の中で、しばらく活動休止状態だったWG1は2013年1月に解散と報告された。

現在SC7内には用語に関する規格が5つあり、それらは各WGで個別に取り扱われてきたために、用語の重複や異なった定義などの問題がある。今回の会議を機に、SC7全体としてこの問題をどう扱っていくか討議する特別グループ(Ad Hoc group)が結成された。

●フリーフォーム技術に関する技術報告書

今回、最初に参加した会議は、前回の国際会議(ミラノ)から始まったフリーフォーム技術に関する技術報告書作成グループの会議で、これはSC7の各ワーキンググループに関わりがあるため、SC7全体を単位として審議が進められている。プロジェクトリーダーは日本の川合氏。これまで、WEB会議は2度ほど行われてきたが、正式に委員が集まるのは初めてとなる。方向性としては、フリーフォーム技術の現状把握といった感じで、4つの項目(導入、屈折・ディスペンシング、製造、測定)において、フリーフォームに関する用語を収集することになっている。

●今回WG3作業部会で討議された項目

① ISO 10322-1/2 セミフィニッシュレンズブランク／セミフィニッシュレンズブランクとは、一面だけを光学的に仕上げたレンズブランク。B to B(メーカー間のやりとりに必要な)規格で、実際に眼鏡店の現場に出てくるより前の状態の製品に関しての規格。審議期間の期限切れが迫っているため、11月にはDIS(国際規格案)に移行することになっている ②眼鏡レンズ 耐擦傷性技術報告書／そもそも、より強度な耐擦傷性に関する規格を目指して始まって、「より強度」な耐擦傷性をどうチェックするか、その方法を特定できないため規格化を断念したもの。永らく審議が続いているこの「耐擦傷性」に関する技術報告書、発行までにはしばらく掛かりそうだ ③短波長可視光に関する技術報告書／だいぶ前から審議されているが、技術報告書としてはページ数が多過ぎるため、各部分の筆者によって短縮の見直しがされることになった ④ ISO13666 眼鏡レンズの用語／2014年6月にロンドンで行われる中間会議を機に再度、見直しを始める。なお、「眼鏡レンズの用語」については、現在WG3国内委員会で現時点での最新版のISO13666:2012を基に、JIS7330の改訂へ向けての作業が始まっている ⑤新たなシステムティック・レビュー(SR、規格の見直し)／ISO8980-1:2004単焦点および多焦点レンズ、ISO8980-2:2004累進屈折力レンズ ISO 21987:2009 枠入り眼鏡レンズ(発行されてから初めてのSR)。これらについては、セミフィニッシュの規格を含め規格相互の統一を図る方向で見直しが進められることになった ⑥ ISO16034:2002既製老眼鏡の規格も今回SRの時期だったが、変更なしで承認となった。



全体会議の様子

理事会

上期決算、諸規定改正などを承認

会長の薬事功労賞についても報告

平成25年度上期事業ならびに

決算報告（議案1）

平成25年度上期の事業、同教育事業、同中間決算および監査を報告。拍手で承認。

諸規定・規則改正（議案2）

当日配布の資料に基づき賃金規定の改正内容について説明。会長より「従来の賃金規定が非常に古い一般の賃金規定を参考に社会的に折り合いのとれた賃金規定にしたい」と補足説明があった。承認。

（報告事項）

平成25年度PR事業について

①6月に会員および認定眼鏡士登録者にクリアファイル10枚を送付。10月10日のイベント用に東京、京都、大阪、兵庫、徳島、高知、熊本の各支部にポスターとともに無償で配布、現在の在庫は約20,000枚②9月にステッカーを各1枚送付③視力表を12月の会報にあわせ各10枚を送付する予定④マスメディアを使った広告で今年度は読売新聞の半5段、全国通し版（11月24日付）で実施することとした（③④は2ページ参照）

眼鏡技術者国家資格推進機構の

最近の動きについて

岡本理事（推進機構代表幹事代行）が当日配布資料に基づき、①政治活動②対厚労省③特別プロジェクト委員会の設置④資格対策委員会について詳細に報告した。

青年部会、女性部会設置のための提案

当日、配布資料に基づき、青年部、女性部の設置に関する進め方について報告。また、フェイスブックの立ち上げ状況について補足説明があった。

コンビニ払込の導入について

当日配布資料に基づき報告（2ページ参照）

公益事業区分見直しの進捗状況について

豊福総務部長および中島財務部長より、当日配布資料に基づき報告。質疑応答・意見（〇内は回答）／なぜ内閣府はそんなに厳しいのか。利益を上げてはいけないのか。（企業ではなく公益社団法人なので、利益を上げてはいけない）意見：一般社団法人に移行するのは税金の問題が大きく、実質上不可能であることを認識すべきである。これに対し、津田会長は「公益の問題は非常に難しく、会費の値上げと登録更新料の値下げにつながるかもしれない、一般会員の方のご理解をいただくのは時間がかかると思うので、早い段階から状況を報告させていただいた」と述べた。

国際部報告

（10ページにレポートを掲載）

「認定眼鏡士」の登録商標

当日配布資料に基づき報告（会報142号参照）

その他

会員数（上期末現在6,326人）、今後の会議日程など報告。

理事会冒頭の会長あいさつ（要旨）

受賞の紹介をしていただき恐縮している。今回は愛知眼鏡商協組のお世話で賞をいただいたが、当協会も元々は厚労省の管轄する団体であり、ご苦勞いただいた方々に報いるルートを作っておくのはいいことではないかと思う。検討をお願いする。本日は我々にとってうれしいことが2つあり、一つは「認定眼鏡士」の商標登録ができたこと。

大きな法的効果がある訳ではないが、類似した名称が使われた場合に抗議できる条件が整ったということで、一つの前進である。もう一つは、今年のSSS級試験で一举に7名が合格されたこと。これは、メガネを雑貨扱いする商売が進展する中で自分達は違うということを認識させる努力をされてきた成果で、その地道な努力に敬意を表したい。

支部活動 訪問

群馬県支部

今年度の生涯教育講習会もあと数会場となった10月30日の午後、群馬県支部で生涯教育講習会が実施されました。支部のお世話をいただいている南波支部長をはじめ支部役員の方々にお話をお伺いしました。

午後1時15分、講習の前に「眼鏡実務に関するアンケート」(当協会・眼鏡技術者国家資格推進機構共催)の説明があり、続いて南波支部長が「新しい知識を身につけて帰ってもらいたい」とあいさつしました。

現在、支部の会員数は113名で今回の出席は84名(会員外受講者含む)、その中で女性の出席は12人で約一割です。同支部では、8月から準備を始め、9月の下旬に支部総会の資料とともに送付しているとのこと。

また、会場の群馬建設会館は、時計組合の展示会(年3回)の会場ということで馴染みもあり、また車での特来場がほとんどのため、大きな駐車場のあるこの会館が会場として便利なようです。

支部によると「開催時期が遅いせいか地元で受講できなかった人などが、栃木、埼玉、山形など県外からも受講にいらっしゃいます」という。「更新のために講習会に出席しなくては!」という意識もあるようですが、「自分が知識を持っていないとお客様にも、例えば眼科の受診を勧めることはできない」と、日頃の仕事の役に立っていると役員の方々は話してくださいました。

ただ、聞きたいことがあっても手を上げて質問しにくいということもあるようで、「群馬の人はシャイなんですよ」と南波支部長は笑っていらっしゃいました。

生涯教育の出席は多いのですが、支部総会にはなかなか出席していただけないというのが、今役員の方々の気がかりな点のようです。理由の一つに、時代を反映して個々の繋がりが希薄になってきたことがあるのではないかとのことです。



①



②



③

- ①講習を前にあいさつする
南波支部長
- ②天井が高く広々とした会場
- ③会場のある群馬建設会館

支部で実施した認定眼鏡士の PR や メガネの日・目の愛護デー行事などの活動です

※11月27日までに届いた報告です



徳島県めがね商連合会および当協会徳島県支部は、10月1日「第15回めがね供養」を鳴門市北灘の葛城神社で執り行ないました。当日は連合会会員のほか、同連合会顧問の国会・県会議員をはじめ来賓が多数出席。

また、めがね塚建立15周年記念事業の一環として10月5・6日の2日間にわたり、徳島県が運営する大型公園「あすたむランド徳島」において「日本初・469(シロク・視力)選手権」と「目の科学展」を、同公園を管理運営する(株)ネオビエントと共催で開催しました。

「469選手権」は、同公園内の屋外ステージから469m先の風車の丘に設置した視力表や動物の標本を使った指標を参加者に見てもらい、視力を競うというもの。初日は台風が接近していましたが、翌日は好天となり大

勢の参加者で賑わいました。特別ゲストに、アフリカ・ザンビアから日本の病院で研修中の助産師アイビーさんを迎え、その抜群の視力で午前の部の優勝者と視標3.0～3.5で競うなど盛り上がりました。管理運営会社によると2,000人余の入場者があり、地元メディアの取材もあったそうです。

さらに、こども科学館特別展示室ではトリックアート展が開催されており、徳島県めがね商連合会のブースを設け、視力測定やメガネの洗浄、相談コーナーでサービス。また、葛城神社のめがね塚と同寸大のレプリカやパネル展示で日頃の活動を紹介するとともに、当協会や日本眼鏡販売店連合会、ならびに眼鏡技術者国家資格推進機構のPRも行ったということです。

..... 兵庫県支部

神戸市内の長田神社で午前十一時から第56回眼鏡感謝祭を開催しました。この感謝祭は、近畿眼鏡協議会主催(兵庫県支部も協力)で毎年4月1日に開かれていたのですが、今年から10月1日に移行となりました。



..... 島根県支部

「大切なメガネは認定眼鏡士にお任せください」と印刷したボールペンを作製して、支部会員に送付しました。



・ ・ ・ ・ ・ 福井県支部

10月5日、県アイバンク、県眼科医会などの主催する目の愛護デー行事に同支部も協力、また当日の新聞にも広告を掲載。

会場では、支部会員6名がメガネの無料洗浄などを行ったほか、認定眼鏡士のPRリーフレットやポケットティッシュを来場者に配布しました。当日は100名ほどがメガネ洗浄を利用、また会場の様子が翌日の福井新聞に掲載されました。



・ ・ ・ ・ ・ 鹿児島県支部

10月23日付けの南日本新聞で、10月20日に行われた生涯教育が紹介されました。

岡野支部長は「日本では眼鏡技術者の国家資格がなく眼鏡が雑貨のように安く販売されている。技術力の大切さをアピールしたい」と記事の中で答えています。

また、「目の愛護デー」標語啓発ポスターを支部会員に配布しました。

・ ・ ・ ・ ・ 大阪府支部

10月7、8日の両日、大阪市北区のブリーゼプラザで開催された恒例の「目のすべて展」((一社)大阪府眼科医会)に、大阪眼鏡小売協組とともに協賛。講演や遮光眼鏡・拡大鏡の展示紹介、絵画コンクール、メガネの相談などを行いました。

当日の来場者は約1,000人で、小学生の描いた生き生きとした絵が来場者の目を楽しませ291票の投票があったということです。



・ ・ ・ ・ ・ 奈良県支部

9月12日付の奈良新聞で、9月4日橿原文化会館で実施された生涯教育の様子が紹介されました。

森本支部長は「技術や知識を常に最新の状態に保ち、消費者の最適な眼鏡を提供できれば」と記事の中で述べています。





● 新聞などへの掲載で認定眼鏡士のPR広告●

秋田県支部(10月10日付、秋田さきがけ新聞)、
佐賀県支部(10月10日付、佐賀新聞)

・・・高知県支部

高知眼鏡商組合、高知県眼科医会の共催で、10月6日午前10時～午後3時まで市中央公園で実施。認定眼鏡士が活動に参加し、クリアファイル、チラシ、メガネ拭き、ポケットティッシュも配布。テレビの告知や新聞広告などにより176名が恒例の無料メガネ点検・相談「メガネのチェック&チェック」に来場したとのこと。



事務局 …… 事務局長が交代しました ……

前事務局長／伊藤延興



去る8月31日付けをもって退職いたしました。

11年余の長きに亘り事務局長を務めさせていただくことができましたのは、会員皆様方の

温かいご指導とご鞭撻のお蔭と心から感謝申し上げますとともに、皆様方のご健勝と眼鏡業界の発展を祈念申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。

新事務局長／塚田 博



6月に事務局に入り、9月に前任の伊藤氏より事務局長を引き継ぎました塚田です。大阪府茨木市出身の61歳、前職は切削工具を

作る会社で眼鏡業界は初めてですが、生活必需品に関わる技術レベルを維持向上させるといふ社会的に重要な仕事だと認識し、協会の円滑な運営に向けて精一杯取り組んでいきたいと思っています。

認定眼鏡士の有効期限のご確認を

有効期限が平成26年3月31日で受講回数不足の方には、お知らせをお送りしています。通信講座などで受講回数を満たしてください。

ご不明な点は、事務局(電話 06-4807-5070)までお問い合わせください。

事務局年末年始の休業日

12月30日(月)～1月3日(金)は、休業させていただきます。通常業務は1月6日(月)から開始となります。ご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。